



《ご参考資料》

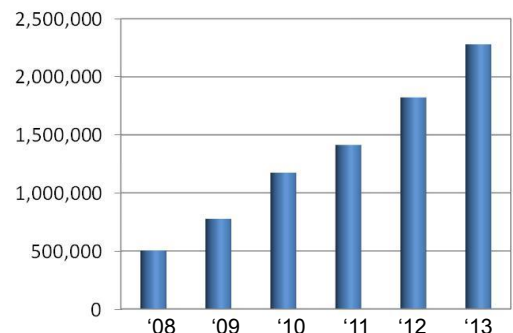
「あそび」を科学的に考え開発した親子の室内あそび場「キドキド」  
**2013 年来場者数が 220 万人を突破**  
 百貨店や人気の大型商業施設への進出で、より幅広い年代が集う施設に

子どもの健全な成長に寄与することを目的に教育玩具の輸入・開発・販売と、あそび環境開発を行う株式会社ボーネルンド（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中西弘子）は、親子に人気の室内あそび場「キドキド」の2013年の年間来場者数が約227万人に達したことをお知らせいたします。前年の約182万人を約25%上回り、過去最多のお客様に来場いただきました。2004年の運営開始以来、来場者数は順調に推移しており、現在は全国18箇所で店舗を運営しています。

「キドキド」とは、子どもの“こころ・頭・からだ”のバランスがとれた発育をサポートし、運動やあそびを楽しめる屋内遊戯施設です。運動大国であるデンマークの教育者と開発したボーネルンドのオリジナル遊具を中心に、子どもたちが発達段階に応じた多様なあそびを存分に楽しめるよう、環境全体に工夫をこらして設計しています。当社スタッフ「プレイリーダー」がたくさんのあそびの見本を示して、親子のあそびをサポート。通常保育と比較して歩数が約1.5倍、跳ねる・転がるなどの動きの多様性は約2倍という高い運動効果があり、子ども自身の高い満足度などからリピーターも多く、2013年の来場者数は過去最多の227万人にのびりました。同施設は一般のお客様に限らず、行政や企業のビジネスパートナーへのショールームとしても機能しています。

昨年は、東西の新たなランドマークとして誕生した商業施設、グランフロント大阪と MARK IS みなとみらいに新規オープン。小学校高学年でも楽しめる大型遊具や高い巧緻性を要するあそび道具の充実を図り、これまで多数ご来場いただいていた未就学児童に加え、より幅広い年齢のお子様にお越しいただいています。また、昨年リニューアルオープンした伊勢丹松戸店では、地域の親子三世代を集客する核テナントとして百貨店へ初出店を果たしました。同百貨店では子どもから祖父母世代まで幅広い年齢層を顧客ターゲットとしており、「キドキド」が子育てに携わるすべての人々をつなぐコミュニケーションの場となっています。

「キドキド」の年間来場者数推移



当社では子どもの成長に寄与する豊かなあそび場を社会のインフラとするために、今後も全国で「キドキド」の出店を進めてまいります。今年は3店舗の新規出店を計画しております。

【ボーネルンドについて】

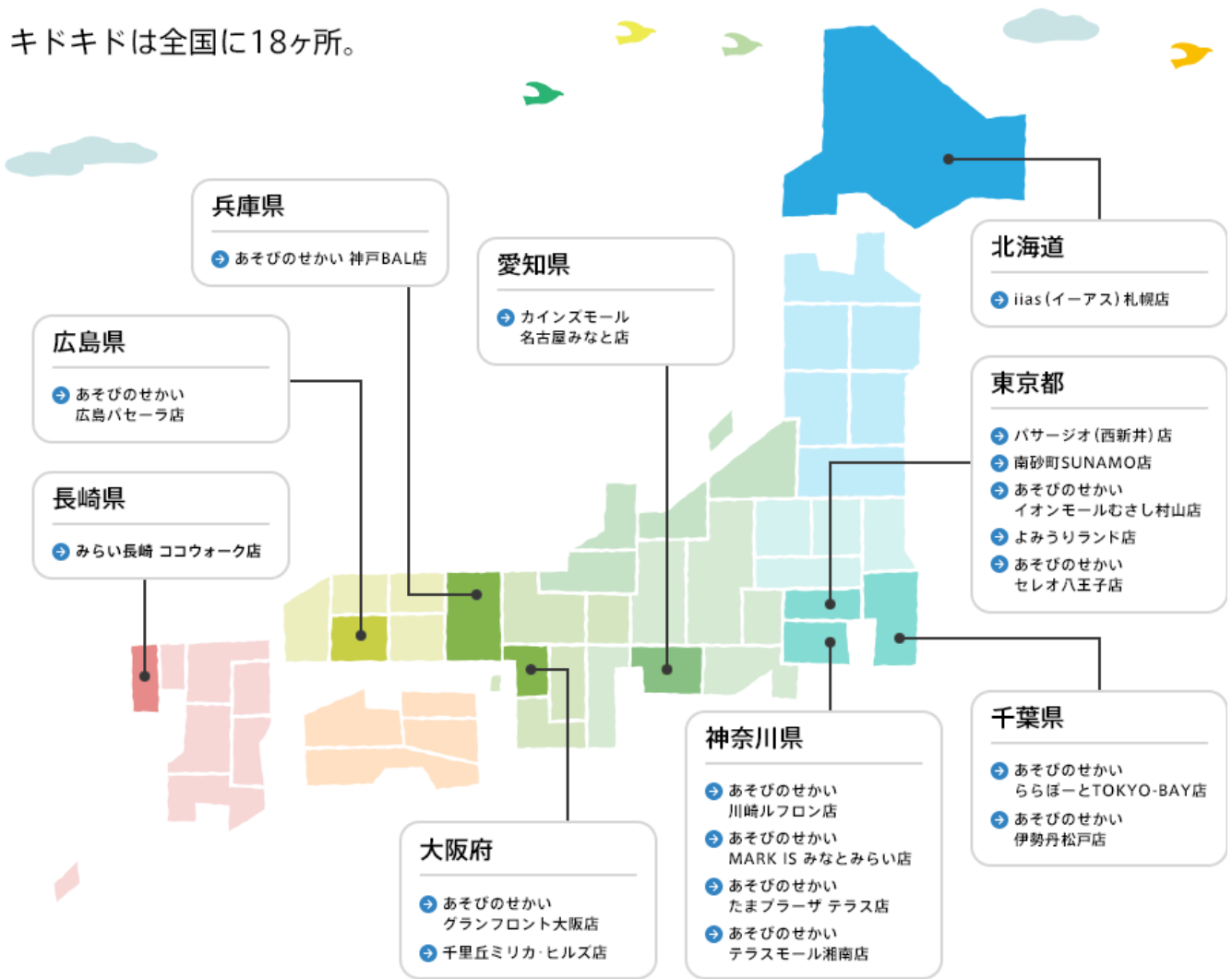
ボーネルンドは、あそびを通して子どもの健全な成長に寄与するため1981年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国91ヵ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約3万ヵ所まで拡大しています。また、2004年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる室内あそび場「キドキド」事業をスタート。現在は全国18箇所、年間200万人以上の親子が訪れています。

《報道関係の方のお問い合わせ先》

|   |   |
|---|---|
| 株式会社ボーネルンド 広報室<br>担 当：讃井、村上<br>T E L：03-5785-0860 / 080-5901-3591<br>E-mail：sanui@bornelund.co.jp | 株式会社プラップジャパン<br>担 当：五味渕、古澤、山口<br>T E L：03-4580-9104<br>E-mail：bornelund@ml.prap.co.jp |
| 《一般の方のお問い合わせ先（ご掲載用）》  |   |
| 株式会社ボーネルンド TEL：0120-358-518   |   |

■ キドキド店舗一覧 (2014年1月現在)

キドキドは全国に18ヶ所。



※ あそびのせかいとは、ポーネランドショップとキドキドが融合した施設です

■ 施設内の主な遊具イメージ



エアトラック



サイバーホイール



大型遊具とボールプール



アートの森



ごっこあそびコーナー



赤ちゃん専用コーナー